

教科(科目)	芸術(書道Ⅰ)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	東京書籍『書道Ⅰ』				
副教材等					

1 学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力や表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 指導の重点

古典の臨書を通じ、さまざまな書風があることを知り、書の美の多様性と表現の技法を理解する。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	書の美を求めて (オリエンテーション)	用具 用材	書写から書道	小中学校の書写から高等学校での芸術としての学習を理解するようにする。	6	各書体の運筆の特徴をおさえているかを見る。作品および提出物で評価。
5	漢字の書楷書	九成宮禮泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 自書告身 など	用筆法	字形や用筆、運筆の特徴を確かめ古典を臨書する。	8	
6	漢字の書行書	争坐位文稿 蘭亭序 風信帖	運筆法	楷書よりも表現の幅が広く変化をつけやすい芸術性の高い、しかも実用的な書体を学習する。	8	
7 9	篆刻	印材	雅印制作	自分の刻印を刻り、落款印として書の作品に使う。	14	
9	漢字仮名交じりの書(創作)	半折 1/2	調和体	学習した漢字の古典や仮名の古典をより所にして調和を図り、表現を工夫する。 半折 1/2 で自己表現する。(作成した自分の印を使用)	4	
10	漢字の書隷書	曹全碑 乙瑛碑	横画	篆書の点画が直線化され簡略化されてうまれたこの書体を鑑賞や臨書によって基礎を身につける。	8	
11	漢字の書篆書	泰山刻石	均整のとれた字形	最も古い書体を鑑賞し、書道の長い歴史を感じる。	8	
12	仮名	変体仮名	変体仮名を知る	仮名の書体を身につけた後、変体仮名の理解を深める。	6	
1 2	仮名	蓬萊切 高野切第三種 高野切第一種 関戸本古今和歌集	連綿	古典の鑑賞と臨書を通して仮名の字形の変化と運筆のリズムをつかむ。	6	
3	作品鑑賞			作品について感想を述べ合う。	2	

4 課題・提出物等

作品提出 (毎時)

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

書への 関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、表現や鑑賞の創造的活動に主体的に取り組んでいる。	書のよさや美しさを感じ、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的に表現する技能を身に付け表している。	日常生活における書の効用や日本および中国等の書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、 ・課題作品 ・授業態度 (授業の取り組み) ・出欠席 などから、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

- ・簡単に諦めず、向上心を持ち続けるよう努力すること。
- ・できなかった事ができるようになるように、一枚でも多く練習すること。
- ・公共物 (硯、文鎮等) を大切に使用すること。

(担当 : 鈴木 美里)